

【様式1】

## 概要書

研究名	県産スギ材のツーバイフォー部材化に向けた研究
民間機関等 (相手方)の名称	宮城県林業技術総合センター
研究の概要	<p>本研究において、県産スギ、SPF 桝組材について、桝組壁工法製材日本農林規格に基づく目視等級区分及び非破壊強度測定を林業技術総合センターで行った。その結果、県産スギは、SPF 桝組材の圧縮強度と同程度の性能を有していることが明らかとなった。このことから、圧縮力が作用するたて桝に県産スギを用いた鉛直構面を構築することとした。構築した鉛直構面の構造性能を把握するために桝組壁工法建築物構造計算指針に記載される、標準的な試験体の仕様とし、たて桝をスギ、上桝下桝をSPFとしたものをスギ-SPF 試験体とし、すべてSPFとした桝組壁材をSPF 試験体とし、各3体及び予備試験体各1体を大学校において作製した。その後、作製した桝組壁材を桝組壁工法建築物構造計算指針に基づき面内せん断試験を行い、強度性能の把握を行った。また、試験の際には、宮城県内の関係団体ならびに関係企業に対して、公開実験を行った。その結果、スギ-SPF 試験体は、SPF 試験体よりも剛性は劣っているものの、強度に大きな差はないといえる。これらのことより、宮城県産スギ材は、桝組壁構法耐力壁に活用することができる考える。</p>